

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講師：土肥 敏博 (どひ としひろ) 先生

日本薬科大学 薬学部 薬学教育推進センター教授

演題：疼痛制御の新たなる展開

日時：平成25年11月14日(木)

17時30分 ~ 19時30分

場所：共用講義室1 (M&Dタワー2階)

講義要旨：シクロオキシゲナーゼ (COX) 阻害をその主たる機序とする NSAIDs は安定した抗炎症・鎮痛効果をもつ。しかし、COX 阻害が故の副作用、COX-2 阻害薬の脳梗塞、心筋梗塞リスクが新たに問題化している。心血管合併症やアスピリン喘息の発現機序、鎮痛薬の適切な選択など最近の展開について紹介します。

三叉神経痛や歯科治療後に発生する慢性疼痛などの神経障害性の疼痛には従来の鎮痛薬の奏功率は高くない。最近、私たちが報告したグリシントランスポーター阻害薬や血小板活性化因子 (PAF) 受容体拮抗薬の神経障害性疼痛や癌性疼痛に対する優れた疼痛緩和作用について紹介します。

略歴：昭和44 大阪大学大学院薬学研究科修士課程終了後、広島大学歯学部助手 (歯科薬理学講座) 昭和51 薬学博士 (大阪大学) 昭和52 米国バージニア大学医学部留学 (Murad 研-1998年ノーベル医学生理学賞) 平成3~20 広島大学歯学部教授 平成21より現職、歯界展望：顎関節痛に対する薬物療法-痛みと鎮痛薬を理解するために-Vol 120(2), 2012より毎号20回に亘り連載中

【連絡先】大谷啓一・青木和広 硬組織薬理学分野 (内線5461)